

地域ぐるみで子育てを実現する/  
スマイルの強み

町には2か所の子育て支援センターがあります。今回は、東庄町地域子育て支援拠点事業として町が笹川中央保育園に運営委託している「スマイル」を特集。見学はいつでも大歓迎です。それぞれの良さがあるので、ぜひ雰囲気を感じてみてください。



子育ては続く—OBもシニアも集まる“地域の子育て”へ

スマイルには乳幼児親子だけでなく、支援センター利用者OBの来所も増えています。子どもが成長すると、悩みは「寝かしつけ」から「園や学校のこと」「友だち関係」「家庭での関わり方」へ。そんなとき、気軽に話して気持ちを整理できる場所があることは大きな安心です。  
また、シニア世代の利用もあり、赤ちゃんとのふれあいや学び、癒しを求めて訪れる方もいます。世代が変わるほど、町の見守りの輪はやさしく広がっていきます。



「面白そう」が形になる—応援の輪と役割分担

スマイルの強みは、活動を応援してくれる人の輪があることです。園長や地域の方、町職員などが「面白そう」「いいね」と背中を押してくれます。参加する人も、企画する人も、協力する人も、関わるみんなが笑顔になれる空気が、活動を続ける力になっています。

運営では、それぞれが特技や長所を生かし、役割分担し助け合っています。スマイルは公設民営として町とも連携し、現場の気づきを必要とする支援につなげやすい体制。居場所として寄り添いながら、必要となる時は支援の入口にもなります。



次の世代につながる—ふれあい体験など、貴重な学び

スマイルでは、ママたちの「やってみたい!」を形にするべく、職員2人で計画を練り、新しい企画が生まれています。小・中学生のふれあい体験などを通して、命の重みや思いやりを学ぶ機会にもつながっています。子育てを地域で見守る空気づくりが、町の未来を支えます。日常の悩みはスマイルへ、補助金や手当など制度・手続きは子育て支援係をはじめとする保健福祉総合センターへ。迷ったら、ひとりで抱えずご相談ください。

ほっとできる、もう一つの“家” —利用者の声から見える、スマイルの価値。「あなたにとって、スマイルとは」—

群馬から移住して2か月ほど。町のインスタを見て、スマイルの存在を知りました。実家も遠く、日中は子どもと2人きり。スマイルは先生たちも明るく、共に子育てに励むママさんともつながれる、あたたかい場所です。



移住して不安でしたが、予防接種で知り合ったママ友とスマイルに通い始めました。2人目出産時、夫は仕事、実家は遠方で頼れる人がいない中、スマイルのママ友にサポートしてもらい無事に次男を出産。スマイルは困った時に頼れる、安心の場です。



家にこもりがちでしたが、スマイルは育児の話ができて楽しく、心が和む憩いの場です。一人でいるより、スマイルに来た方が絶対がいい。まずは一歩外に出て、ふらっと立ち寄ってみてほしいです。



小・中学校での赤ちゃんふれあい体験(11月)



みんなのアイデアでうまれる、さまざまなイベント



—子ども・ママ・パパに選ばれる理由— 子育て支援センタースマイルに関わる方たち

イベントのお手伝いを中心に携わっています。気軽に立ち寄って助け合える、ママ同士もつながれる「ほっとする場所」。子どもたちは孫のようで、私たちも元気をもらっています。



皆さんのアイデアとパワーのおかげで、私たちも楽しみながら運営しています。行政や地域との距離が近く、やりたいことがすぐに実現できるのも東庄町の魅力。たくさんの支えに感謝しながら、これからも皆さんの笑顔をお待ちしています!



協力隊として現場を知りたいと「スマイル」の行事に関わり、ママや地域の方と温かいつながりが生まれました。私自身もここで世界が広がったように、ここは誰もが次の一歩を踏み出せる「きっかけ」の場所です。



「地域住民×子育て支援センター×行政」公設民営だからこそできる。

ワンチームで子育てを実現する、  
子育て支援センター スマイル